

平成21年度田中健記念研究助成事業研究発表会

精神科医療機関におけるうつ病・不安障害で休職する患者の実態とリハビリテーションのニーズに関する調査研究

医療法人雄仁会 メディカルケア虎ノ門
五十嵐良雄

参考資料：平成21年度田中健記念研究助成事業研究発表会

調査の目的

- ◆背景
企業ではうつ病やうつ状態で休職する社員が増加
全国に存在する精神科診療所や精神科病院は治療の最前線
- ◆目的
精神科診療所や精神科病院で診療を行う精神科医の産業メンタルヘルスに関する意識を知り、今後の復職支援のあり方を提言

参考資料：平成21年度田中健記念研究助成事業研究発表会

昨年度の調査の概要

◆対象

日本精神神経科診療所協会会員(1512診療所)
診療に携わる医師に限定

◆方法

平成20年11月28日に調査票を郵送
平成21年1月26日回収締切

◆回収率

358件 (回収率23.7%)

参考資料：平成21年度田中健記念研究助成事業研究発表会

対象と方法

- 対象：日本精神科病院協会の会員病院に勤務する常勤の精神科医
- 方法：アンケート調査用紙を送付し回収。調査内容は昨年度実施した日精診会員を対象としたものと同様とし、調査結果を比較検討した。

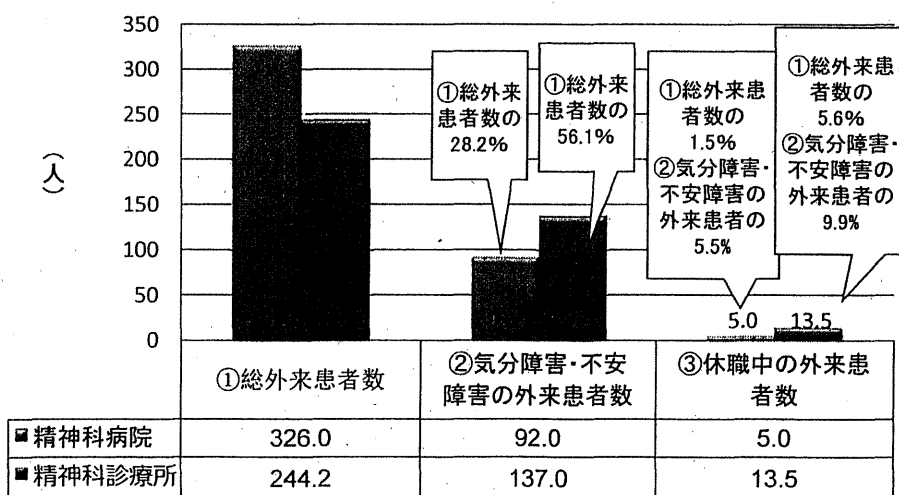
参考資料：平成21年度田中健記念研究助成事業研究発表会

回収率

- 日精協会員病院1214病院の常勤精神科医4220名に対し、調査用紙を送付し、588病院(48.4%)、2174人(51.5%)から回答を得た。
- 日精診会員診療所を対象とした昨年度の調査では、1512診療所から358人(23.7%)の回答を得た。

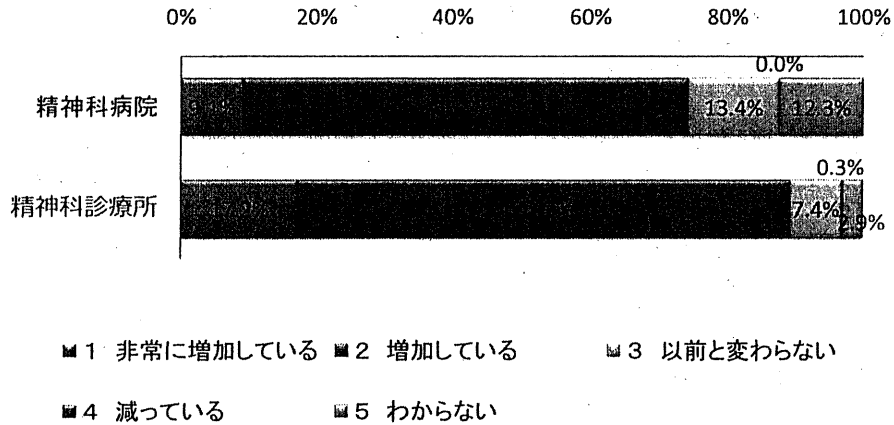
参考資料：平成21年度田中健記念研究助成事業研究発表会

【Q1】患者数調査
(精神科病院と精神科診療所 外来7日間当たりの1施設平均の比較)



参考資料：平成21年度田中健記念研究助成事業研究発表会

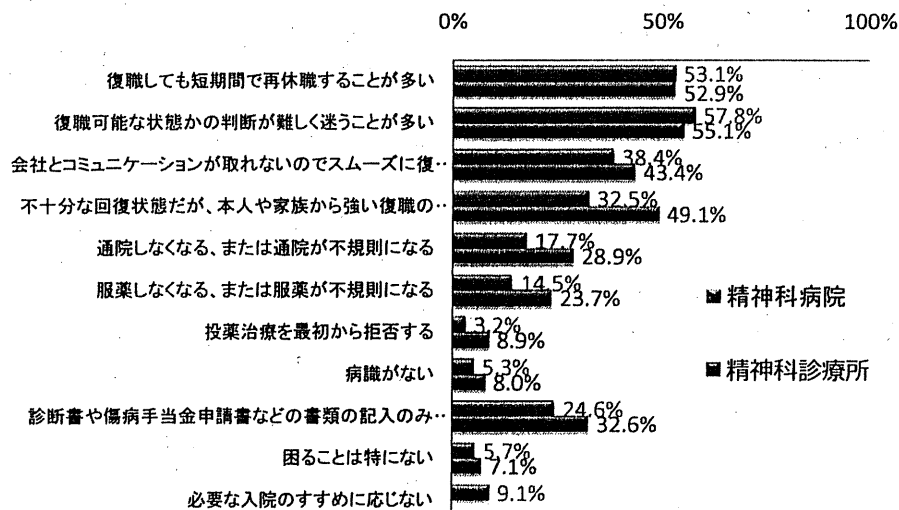
【Q2】診療中の印象としてうつ病患者が年々増加していると思いますか？



参考資料：平成21年度田中健記念研究助成事業研究発表会

【Q3】うつ病休職者の復職時や復職後にお困りのことを、全て選んで下さい

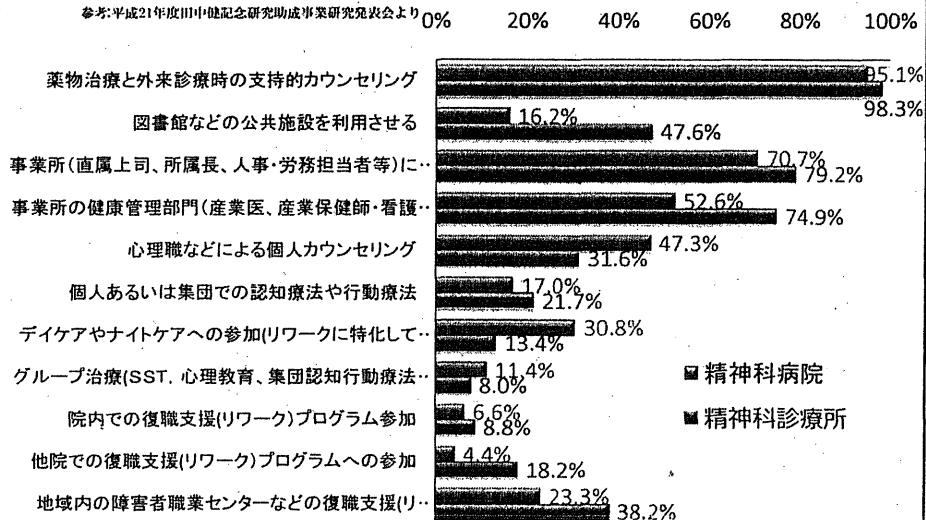
参考資料：平成21年度田中健記念研究助成事業研究発表会



参考資料：平成21年度田中健記念研究助成事業研究発表会

【Q4】通院中のうつ病休職者に対し、復職前にどのような治療や支援を行っていますか？

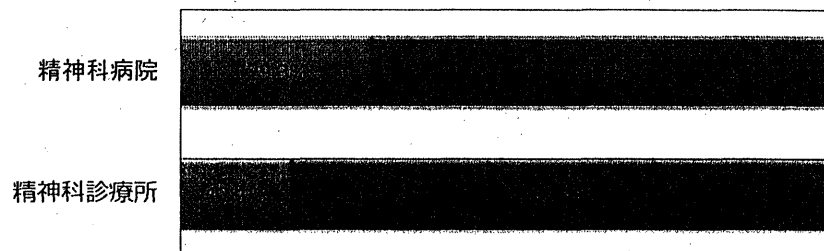
参考：平成21年度田中健記念研究助成事業研究発表会より



参考資料：平成21年度田中健記念研究助成事業研究発表会

【Q5】リワークプログラムについて、ご存知ですか？

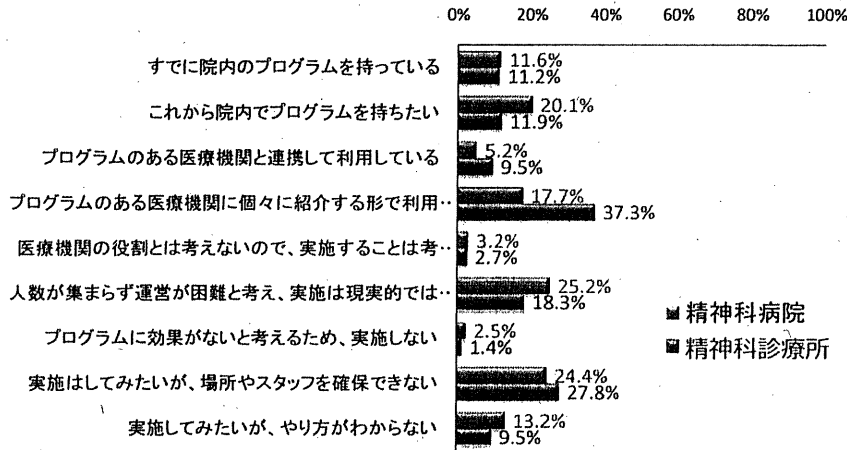
0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



■ 1 聞いたことがなく、知らない ■ 2 聞いたことがある、知っている

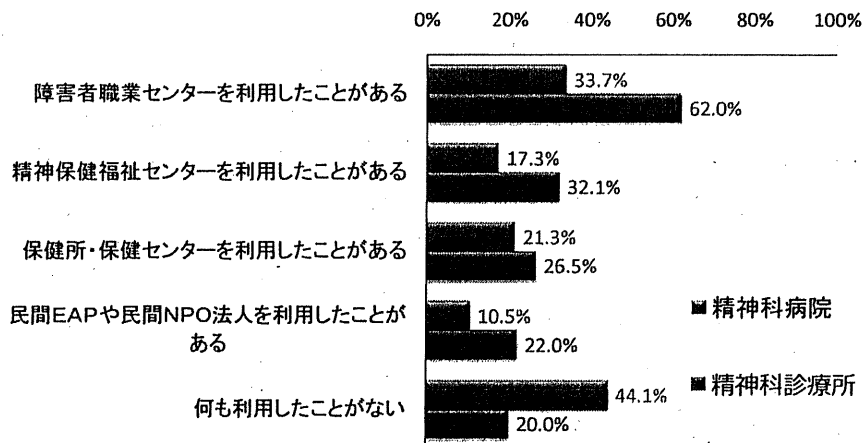
参考資料：平成21年度田中健記念研究助成事業研究発表会

【Q6】リワークプログラムについて、知っている方への質問(複数回答)



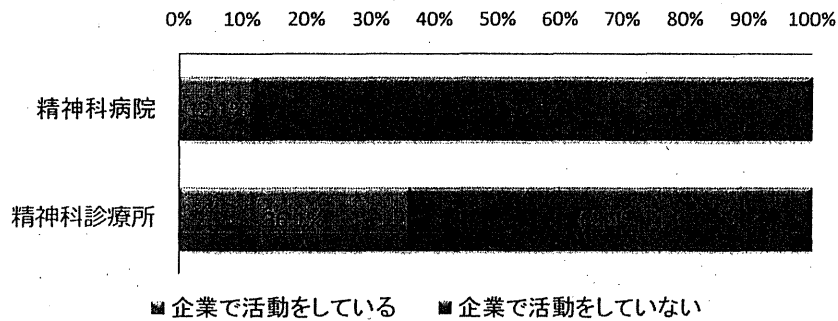
参考資料：平成21年度田中健記念研究助成事業研究発表会

【Q7】地域内の復職支援を行う医療機関以外の期間との連携について、該当するものをお選びください



参考資料：平成21年度田中健記念研究助成事業研究発表会

【Q8】企業において産業医や顧問医、専門医としての活動を行っておられますか？



参考資料：平成21年度田中健記念研究助成事業研究発表会

結果のまとめ

- ◆ 診療所では9割以上、病院では7割以上の精神科医が、うつ病・うつ状態の患者の休職が増えていると認識している
- ◆ 診療所および病院の精神科医が主治医として事業所との連絡調整機能を持つことは現状からみて可能、また、産業医等として診療所では3割、病院では1割の医師しか関わっていない
- ◆ 復職前の支援を担う職種として診療所、病院ともに心理職の役割が大きい
- ◆ 復職可能性の判断に迷うことが多く、再休職も多いと感じる精神科医が診療所、病院とも半数以上存在する
- ◆ 診療上ばかりではなく復職を支援を行うとしても、治療困難性のある患者の存在は診療所、病院の医師とも感じている
- ◆ リワークプログラムの認知度は診療所では8割、病院では7割を超え、4割程度の診療所でプログラムが利用されていたが、病院では自院のデイケアを利用する場合も多く、リワークプログラムの興味を持つ病院の精神科医は2割を占めていた。

参考資料：平成21年度田中健記念研究助成事業研究発表会